



平成十年
『新しい年を迎えて』

社友会広島支部、紅葉会会員の皆様も新たに新春をお迎えの事と思えます。

当支部も本年一月には会員数も五十名を越え紅葉会と併せて一〇〇名の大きな支部に成長しました。これも会員諸氏の日頃のご協力のお陰と感謝申し上げます。

今後とも会員は年々増加の一途を辿りますが中には健康を害され入院、通院の方もおられます。どうか一日も早くお元気になられて社友会活動に参加されますようにお見舞い申し上げます。

さて、昨年は政治の不安定、景気の低迷、金融不安等々、全く暗いニュースばかりでありました。本年も又、円安 株安のスタートとなりアジア金融の低落は日本へも多大の影響を与えそうです。政府の減税対策も効果期待は薄く、本年は特に厳しい年になると言われています。私達もそれなりに心を引き締め対応しなければなりません。

先に申しました通り会員数の増加に伴い、社友会室も、通信システム事業本部のご厚意により、昨年四月手狭になった本部事務棟から国道を隔てた第三工場にゆったりしたスペースを提供頂き、ワープロ・ゴルフ・ボーリング・ウォーキング・囲碁、将棋等楽しい集まりが増えつつあります。

社友会支部として今後は計画する年間行事に一人でも多くの方々に参加していただく事です。

毎週月・水・金の三日間支部会員が交代で詰めております。是非気軽に立ち寄り頂け、お電話やFAXをお寄せ下さい。
社友会室での雑談で旧交を暖め情報が得られ



コミュニケーションが良くなり体調が回復したと言う例もあります。
社友会支部の今後の発展の為に積極的なご協力をおねがひします。
皆様のご健勝とご活躍をお祈り致します。

平成十年
『新年△△開催』

社友会広島支部及び紅葉会合同の平成十年度新年会が、去る一月二十二日(木)夕刻より西条町東広島シティホテル「白竜湖」で、通信システム事業本部 藤田総務部長をお迎えして開催されました。

今回は、昨年新しく入会されました広兼さん・車角さん・江頭さん・今村さん・杉山さん、の新会員五名と遠くは横浜から江川さん、岡山の小倉さん、鳥取の片桐さん達に紅葉会の有志六名が加わり総数三十四名が参加されました。新会員の広兼さんの音頭で、皆様のご健勝と社友会の発展を期待して乾杯。和食料理をつつきながら久しぶりの歓談、ビールやお酒のメーカーが上がるにつれてカラオケの盛り上がりも最高潮。

杉山さんの「青春時代」、辻村・徳永(紅葉会)さんデュエットの「青い山脈」等在りし日の青春歌から、さすがが現役で錬磨の藤田さん、韓国艶歌専門の片山さん・片桐さん、相当月謝を注ぎ込んでいる紅葉会の徳永さん・丸下さんこの人達の艶歌が出ないと宴も始まりず終わらない小倉さん・松岡さん・浅島さん平賀さんの熱唱が続く。

時間の経過もあり、最後に杉山さんの「一本締め」で締めくくって頂き記念撮影をして散会しました。

広報担当 島田



西条町「白竜湖」にて

『ボーリング 同好会便り』

平成八年十月発足以来、月例会、大会と活動を続けて来ましたボーリング同好会ですが、今年一月(新年会の日)に西条賀茂ホールで開催しました第四回の「新春ボーリング大会」では、九名の参加者が楽しくゲームを競い合い、車角さんが立派な優勝トロフィーを手に入れました。当同好会では、現在、年三回(二月、五月、九月)の大会を通じて、社友会紅葉会及び現役の方々と親睦を図っていますので、次回五月大会にも多くの皆さんが気軽に参加されますよう期待しています。

では、終わりに現在までの大会優勝者の顔触れを紹介します。

- ◇ 第一回優勝者 山内 孝雄 三三三三三
 - ◇ 第二回優勝者 浅島 治 三二六六六
 - ◇ 第三回優勝者 川田 美美子 三六二二二
 - ◇ 第四回優勝者 車角 裕規 三六五五五
- 〔注〕得点はスコアを含む2ゲーム合計
『新会員大歓迎』 推進リーダー 吉岡



『あるこう会便り』

平成九年十二月度の「あるこう会」は十四日、忘年会も兼ねた行事として九人がバスツアーを利用して神戸へ足をのびし、神戸ルミナリエ見物に行ってきました。朝八時三十分西条を出発、天気も良くバスツアー日和、十二月とは思えない暖かさで、予定時刻に神戸着、時間内で自由に市内見物をするツアーなので、我々一団は一緒に行動することにして早速市内の散策に出掛け、フラワー通りの素晴らしい夜景を、また神戸で珈琲の美味しい有名な店でコーヒーを味わい、中華街の賑わい、広島県では味わえない二十万人のルミナリエの入出、ハーバランド東側にあるホテルでイタリアン料理によるバイキング形式のディナーで一時間余り、日頃は体重を気にかける人達、しかし今日ばかりは別腹の様子で各自が好みの料理を腹一杯食べ堪能した。我々「あるこう会」歩く事が目的の今日、

歩行時間は三時間余り、装着した万歩計の歩数には個人差が可成あったが一万五千歩以上二十時半過ぎホテル前を出発帰途につき、夜半十二時過ぎ予定通り西条に帰着する行程で少し厳しかったのですが、全員機嫌よく帰って来ました。

平成十年も毎月第三土曜日が基本日程で、季節や景色の移り変わりを鑑賞できるコースを時には楽しみながら歩く予定です。

推進リーダー 濱川

『嵐 定明さん ネットの部で優勝』

第十八回中国新聞社杯シニアゴルフ選手権が昨年十月十五日、賀茂郡大和町の白竜湖カントリークラブ(6420ヤード・パー72)であり、18ホールストロークプレーで行われました。

県内の六十歳以上のゴルフアー百四十一人が参加。グロス、ネット、グランドシニアの部門で優勝を争い、ネットの部で我が広島支部ゴルフ同好会リーダー・嵐 定明さん(賀茂・ハンディ10)が78で回り、ネット68で堂々優勝、グロスの部でも十位入賞を果たしました。中国新聞でも大きく報道され、ゴルフ同好会も力強いリーダーを得て心強い限りです。

嵐さんの今回の優勝は、日頃の練習と意欲的なコンペへの参加、体力維持の成果の賜物で、同好会の推進には特に熱心で、常にメンバーの先頭に立って活躍して戴いています。

会員は現在十二名で、発足以来コンペも八回を数え、去る十二月九日寒さにもめげず賀茂CCで昨年の打ち納めを行いました。

本年は又、ゴルフ愛好の新会員が入会予定で、今後ゴルフ同好会が益々盛んになることが期待できます。

ゴルフ同好会

『ワープロ同好会便り』

一年を顧みて

平成八年六月より、ワープロ同好会を開講し、丸一年六ヶ月を経過しました。当初の六ヶ月はスローペースで学習して参りましたが、後半の一年間は必要な科目はこの一年間で習得すると云う事で早いペースで進めて来ました。早いペースにも拘わらず同好会の皆さんは熱心に、暑い日も寒い日も、この一年を頑張って参りました。昨年五月の社友会総会には、その成果を発表するなど、活発に活動を行って来ました。今年作品発表会に向けて更に技術の向上を目指し全員が頑張っております。この一年間の学習科目を参考までに記載致します。

- (1) カレンダー作成(アート組合せ)
- (2) たれまくの作成
- (3) 装飾文字と拡大文字
- (4) 往復はがきの作成
- (5) グラフと文字の組合せ
- (6) 自動計算
- (7) 原稿用紙による文書作成
- (8) 暑中見舞いの作成
- (9) マジカル・ラインアウト
- (10) クリスマス・カードの作成
- (11) 年賀状の作成(2色ずり)
- (12) 外字の作成

大きく分けて十二項目の学習を致しました。九年度の反省としては、学習科目が多すぎた、学習のスピードが早すぎた為に、100%理解する事が出来なかった事もありました。

今年九年度の復習に重点を置き、会員の皆さんと必要な科目を選定し、十分理解頂ける会合にしたいものと、考えております。

又、初歩からやってみたい方、途中で止めてしまった方、新しい技術を覚えたい方、遠慮なく入会下さい。他の同好会や社友会・紅葉会の催し等にも楽しく参加しながら皆さんと一緒に学習してみませんか。

推進リーダー 新田

『熊本・阿蘇の秋』

松岡 良明 記

十一月九日(日) 快晴

今日は、社友会・広島支部の一泊旅行の日である、午前七:三〇分には、参加者三十七名が観光バスに乗り込み会社を出発。

志和ICより秋の山陽道を西に観光バスは走る、暫くして宮島SAに到着トイレ休憩。

発車して約三〇分もすると岩国(山口県)、日曜日であるが、交通量は思うほど多くなく観光バスもちらほらで、時々我々のバスを抜いて行く自家用車も少ない、岩国から下松までは、山間部を行き所々に紅葉が見え隠れしている、ガイドさんによる沿線の説明は省略、徳山の市街を過ぎ、防府から山口JCで、中国道と合流して、美東SAで本州最後の休憩に入る。

美東SAを出て、間もなく本州と九州を結ぶ関門橋に、海峡は波穏やかに『ゆっくりと』小船が行く、宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘した、巖流島は右の車窓むこうの、小島だと説明されたが、巖流島は見えずに通過、宮本武蔵と言えど剣豪で、吉川英治の作品は有名映画で見たことが思い出される、熊本での宮本武蔵のゆかりの地の見学も今回のコースにある。

バスは、小倉を過ぎ広大な筑紫平野を快走し次は古賀SAでの停車(ここは一昨年 壱岐に行った時に、弁当を積み込んだ思い出の場所、約三分の休憩を終え再び出発する。本場に快晴の、九州自動車道を南下する。やがて、鳥栖JCに、ここは長崎自動車道と大分自動車道の分岐点です、間もなく熊本県車窓の両側にビニールハウスが並んでいる。これは、スイカを栽培しているとの事、そう聞くと熊本県はスイカの産地として有名である、やがてバスは植木ICから一般道に降り熊本市内を行く、この辺りを見る限り広島と良く似ている、無事昼食会場に到着し、郷土

料理を賞味する。(水前寺公園)に近い場所。昼食後は、バス発車までの少しの時間を付近の散策を楽しむ、水前寺公園を見た人も居たようだが、今回のコースには入っていないのが残念だった。

昼食後は、熊本市内の外れに当たる、宝華山雲巖禅寺へ、あまり広くない道路をバスはゆっくりと上って行くが、対向車があるとストップしたり、後退しながら、鈴なりのミカン畑を見ながら山頂に着く、地図で調べると海拔六六五Mあった。

ここは、宮本武蔵が霊巖洞に籠もり『五輪書』を書いたとされている、雲巖禅寺の宝物館には、武蔵の自画像や佐々木小次郎と決闘した時の木刀が展示されていた。

境内には、お釈迦様・不動明王・十六羅漢五百羅漢などが祭られて居るが、傷みの酷い物は頭部が落ちたりしていた、このお寺は檀家を、持っていないので参拝者の拝観料と浄財で、運営されている、ここで記念写真。

次の見学は、山を降りて市内の島田美術館へ、市内を一周するように、熊本城を回りながら美術館に到着、館内には古美術研究家の島田真富氏が収集された宮本武蔵の肖像画、書状、武器が展示されている。

美術館を出て、今夜の楽しみ菊地温泉へとバスは、日暮の熊本市内をあとにする。菊地温泉は、熊本市内から約二十五キロの位置にある、菊地温泉に到着した時は、もうあたりは、暗くなっていた。

宿泊は、菊地温泉ランドホテルで、各自は決められた部屋に落ち着く、皆さんは先ずは長旅の疲れを癒しに温泉に体を沈めている、泉質は無色・無臭で湯の中では身体に『ぬめり』を感じたが湯から上がると『ぬめり』は無く不思議な温泉であった。午後七時から宴会の始まり、今回の世話役の新田幹事の開会の言葉・山田支部長の挨拶・江頭さんの乾杯の発声で宴会の幕が開く。膳の上には、料理で満載、どれから手を付け



菊地温泉ホテルにて

ようかと迷う、今までの旅行では『最高』の料理ではと思われた事でしよう、幹事さんに感謝、ビール・お酒・水割りとお酒・アルコールのメーカーは上昇、十八番の歌も飛びだしムードは最高、やがて予定の時間になり、全員記念写真を撮って、お開きとなりそれぞれ、就寝につく。

十一月十日(月) 快晴の朝を迎える。朝風呂に入りすっきりとした気分、朝食はバイキング方式、和食、洋食と、それぞれがお好みの食事をとる。今日の予定は、阿蘇ファームランド・阿蘇山火口・白川水源(郷土料理) 高森田楽の昼食・掃路となっている。

バスは定刻八時三〇分に菊地温泉を後に、R三二五を南に肥後大津からR五七を北上しJR豊肥本線に沿って阿蘇の麓を徐々に登る、豊肥本線は熊本から立野までの区間で、特に立野は鉄道ファンに知られて居るスイッチバックのある所です。

途中から、阿蘇登山道路に入り、しばらくすると阿蘇ファームランドに着いた、広大な敷地のレジャー施設、一日中居ても飽きないような、健康的な場所を感じる、ここで全員記念撮影をする。

阿蘇道の

上り曲がりや

青の秋

良明

ファームランドは、お土産店・和紙の体験やガラス工房などがあり、とても短い時間では全部を見ることは出来ない、すぐ側の草原では、放牧された赤牛が『のんびり』と草を食べている、阿蘇に向けて出発、バスの柵はお土産で一杯、窓の外は『スキ』が微かに揺れて居る、そして阿蘇五岳の一つ、鳥帽子岳がくっきりと、その草原では、乗馬を楽しんでいる人が居て、まるで西部劇の場面を見て居るようだ、ガイドさんは草千里の案内、噴火口の跡との事中華鍋の底のように見える。



バスは更に上昇しロープウェイの乗り場に
着き、ロープウェイで中岳火口を見る、火口
は摺鉢のように深く、中心部からは、白い
(煙り) (蒸気) か(ガス) かが出ている、
しかし無臭であった、ここに着くまでに、ガ
イドさんの説明では、今日は山頂は晴れで
『ガス』は出ていない、と言っていたので白
い煙りは『ガス』だろう。山頂の所々に『ト
ーチカ』があったが、これは、噴火した時の
避難所であった。

煙の色も五色に煙る 小幡 妙子

バスは次に白川水源に、阿蘇山の麓に名水
あり、この地区は八ヶ所の水源があり、白川
が最も大きく湧水量も毎分/六〇トンと言わ
れている、源流では水底から『こんこん』と
水の湧き出るのが見えた、お土産店では、名
水の持ち帰り用として、ペットボトルを販売

していた、一口飲んで見たが癖がなく美味し
い水であった。

いよいよ、最後のコース名物(田楽料理)
の昼食です、南阿蘇鉄道の終点高森へ、町内
に入ると、郷土料理(高森田楽)の轆が目立
つ大きな囲炉裏に木炭で、こんにやく・豆腐
ツルノコ(特産の山芋)・山女に味噌をつけ
て、焼いて食べる、この味噌は本当に美味し
い味噌だった、焼ける迄には時間がかかるが
お酒を飲みながら、談笑しながらであれば、
結構、楽しいものだったと思っ、バスター
ではや、せわしない。

珍しい料理も戴き、帰路につく、来た道を
熊本市内へと戻る、R五七より熊本ICへ、
九州自動車道を北上する、北熊本SAで休憩
車内では『スーパードール』のビデオが放映中
時々車内で笑いが起こる、鳥栖・太宰府と過
ぎ、古賀SAでバスに給油する、九州最後の
休憩、ここで又、お土産が増える。
古賀SAを出てから、バスは東に向けて走る
関門橋を渡る時、西に大きなオレンジ色した
夕日がとても美しく映っていた。

釣瓶落としとは、この事か、あつと言う間に
辺りは暗くなり、高速のトラックの赤い灯が
バスを追い抜いて行く。
中国道から山陽道に入る、下松SAで夜食の
弁当を積み込み、弁当を食べながら、次は
宮島SAで休憩と案内を受ける、宮島には
一時間程度で到着、宮島で家に電話を入れる
人、多分到着時間を知らせて、迎えに来ても
らう準備だろう、出発点の会社には、午後八
時三〇分無事に到着。

初冬とは思えぬほどの日本晴れ

恵まれし旅 社友会 小幡 妙子

幹事さん・ドライバーさん・ガイドさん本当
に、お世話になりました。

春の日帰り旅行ご案内

『四国 桜めぐり』

瀬戸大橋・金毘羅・丸亀の旅

昨年から紅葉会主催で開催することになり
ました、『春の日帰り旅行』の計画が決まり
ましたのでご案内します。詳細は別途ご連絡
しますが、時は『四月四日(土)』、四国桜めぐ
りと題して、四国は瀬戸大橋経由、讃岐の金毘
羅宮とその近辺の桜見物、ソメイヨシノ30
00本と、晴れた日には瀬戸大橋まで見渡せ
る大展望を楽しみ、次にこれも香川屈指の桜
の名所、丸亀城内を彩る1000本の桜。
天守閣からの、ウチワの生産で知られる丸亀
市の眺望も見逃せないとか。桜見物の後、瀬
戸大橋の中央にある与島の、フィシャーマン
ズワーフ(グルメとレジヤースポット)に立
ち寄り、新鮮な海の幸が並ぶ魚市場や、瀬戸
内の名産品コーナーを見物して帰途につく予
定です。ご主人・奥様ご同伴で多数のご参加
を期待します。 紅葉会幹事

『魚釣り同好会』

以前から魚釣りが大好きで、誘ったり誘われ
てはホイホイと出掛ける太公望が何人かおら
れましたが、昨年より辻村さんにリーダーを
お願いして、同好会としてスタートしました。
この一年、空振りの少ない船釣りから始める
事とし、その実績は次の通りです。

三月 山口沖桂島周辺で本メバル釣り。

一人十尾程度の釣果(六人参加)。

七月 山口県大島沖で本アジ釣り。三十cm

近い大物でクーラーから溢れんばか

りの大釣果九人参加)。

十一月 倉橋島から情島近辺で、キスその他

雑魚釣り。季節外れのキスがそこそ

この釣果。木船さんの主催、木船さ

ん自家用の小型船舶で四人参加。

以上、また暖かくなり釣りのシーズンが来ま

したら声をかけますので是非参加ください。

魚釣り同好会

『新会員ご紹介』 大変ご苦勞様でした。

平成九年五月総会以降に社友会広島支部へ入会された新会員は次の通りです。

- | | | | |
|-----|----|----|----------|
| (1) | 重松 | 聰輔 | 818-0134 |
| (2) | 恒富 | 時三 | 811-1254 |
| (3) | 車角 | 裕規 | 739-0144 |
| (4) | 江頭 | 敏晴 | 739-2124 |
| (5) | 今村 | 勝彦 | 739-0144 |
| (6) | 小寺 | 清健 | 739-0003 |
| (7) | 杉山 | 健介 | 739-2115 |
| (8) | 内田 | 弘介 | 816-0931 |
| (9) | 徳永 | 文昭 | 739-2106 |

住所・電話番号は個人情報
保護のため削除しています。

編集後記

遅くなりましたが『ひびき』第9号をお届け
します。会員の方々のご意見・ご提案等奮っ
て寄稿下さいます様お願い致します。

『送り先』

〒739-0146

東広島八本松飯田2丁目13番1号
シャープ株式会社・通信システム事業本部
総務部気付「シャープ社友会・広島支部」宛